

令和 2 年度入学者選抜学力検査問題

数 学

注 意

- 1 監督者の「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 検査時間は、11 時 40 分から 12 時 30 分までの 50 分間です。
- 3 大きな問題は全部で 6 問で、表紙を除いて 7 ページです。
また、別に解答用紙が、(1)、(2)の 2 枚あります。
- 4 監督者の「始め」の合図があったら、すぐに受検番号をこの表紙と解答用紙
(1)、(2)のきめられた欄に書きなさい。
- 5 答えは、できるだけ簡単な形で表し、必ず解答用紙のきめられた欄に書き
なさい。
- 6 監督者の「やめ」の合図があったら、すぐやめて、筆記用具をおきなさい。

受 検 番 号

番

1 次の1から14までの問いに答えなさい。

1 $(-18) \div 2$ を計算しなさい。

2 $4(x+y) - 3(2x-y)$ を計算しなさい。

3 $\frac{1}{6}a^2 \times (-4ab^2)$ を計算しなさい。

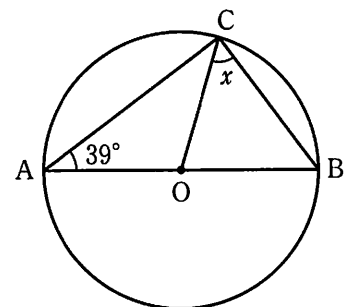
4 $5\sqrt{6} \times \sqrt{3}$ を計算しなさい。

5 $(x+8)(x-8)$ を展開しなさい。

6 x についての方程式 $2x - a = -x + 5$ の解が7であるとき、 a の値を求めなさい。

7 100個のいちごを6人に x 個ずつ配ったところ、 y 個余った。この数量の関係を等式で表しなさい。

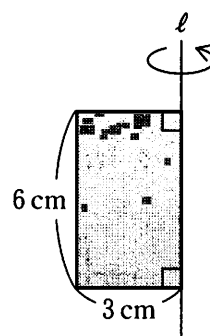
8 右の図において、点A, B, Cは円Oの周上の点であり、ABは円Oの直径である。 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



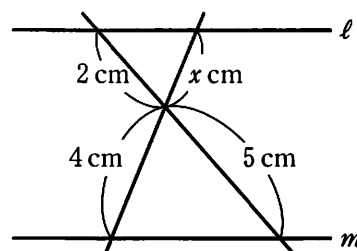
9 2次方程式 $x^2 - 9x = 0$ を解きなさい。

10 袋の中に赤玉が9個、白玉が2個、青玉が3個入っている。この袋の中の玉をよくかき混ぜてから1個取り出すとき、白玉が出ない確率を求めなさい。ただし、どの玉を取り出すことも同様に確からしいものとする。

11 右の図の長方形を、直線 ℓ を軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は π とする。

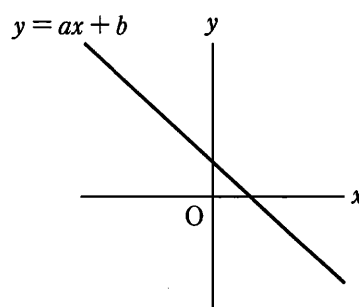


12 右の図のように、平行な2つの直線 ℓ , m に2直線が交わっている。 x の値を求めなさい。



13 右の図は、1次関数 $y = ax + b$ (a , b は定数) のグラフである。このときの a , b の正負について表した式の組み合わせとして正しいものを、次のア、イ、ウ、エのうちから1つ選んで、記号で答えなさい。

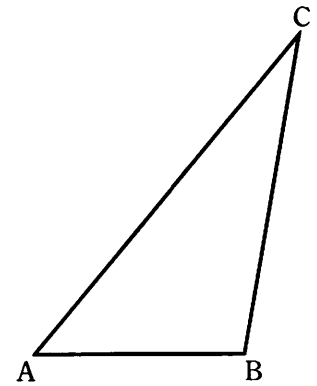
- | | |
|------------------|------------------|
| ア $a > 0, b > 0$ | イ $a > 0, b < 0$ |
| ウ $a < 0, b > 0$ | エ $a < 0, b < 0$ |



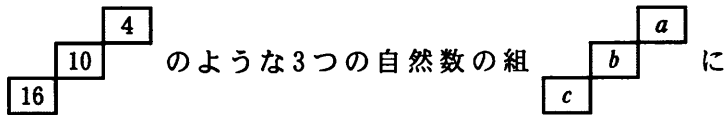
14 ある工場で作られた製品の中から、100個の製品を無作為に抽出して調べたところ、その中の2個が不良品であった。この工場で作られた4500個の製品の中には、何個の不良品がふくまれていると推定できるか、およその個数を求めなさい。

2 次の1, 2, 3の問いに答えなさい。

- 1 右の図のような $\angle A = 50^\circ$, $\angle B = 100^\circ$, $\angle C = 30^\circ$ の $\triangle ABC$ がある。この三角形を点 A を中心として時計回りに 25° 回転させる。この回転により点 C が移動した点を P とするとき、点 P を作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。



- 2 右の図は、2020年2月のカレンダーである。この中の



において、 $b^2 - ac$ はつねに同じ値となる。

次の $\boxed{}$ 内の文は、このことを証明したものである。文中の $\boxed{①}$, $\boxed{②}$, $\boxed{③}$ に当てはまる数をそれぞれ答えなさい。

2020年						
2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

b , c をそれぞれ a を用いて表すと、

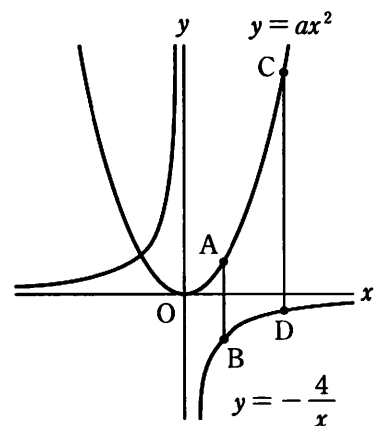
$b = a + \boxed{①}$, $c = a + \boxed{②}$ だから、

$$b^2 - ac = (a + \boxed{①})^2 - a(a + \boxed{②})$$

$$= \boxed{③}$$

したがって、 $b^2 - ac$ はつねに同じ値 $\boxed{③}$ となる。

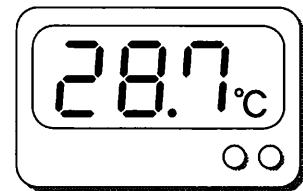
- 3 右の図は、2つの関数 $y = ax^2 (a > 0)$, $y = -\frac{4}{x}$ のグラフである。それぞれのグラフ上の、 x 座標が1である点を A , B とし、 x 座標が4である点を C , D とする。 $AB : CD = 1 : 7$ となるとき、 a の値を求めなさい。



3 次の 1, 2 の問いに答えなさい。

- 1 ある市には A 中学校と B 中学校の 2 つの中学校があり、昨年度の生徒数は 2 つの中学校を合わせると 1225 人であった。今年度の生徒数は昨年度に比べ、A 中学校で 4 % 増え、B 中学校で 2 % 減り、2 つの中学校を合わせると 4 人増えた。このとき、A 中学校の昨年度の生徒数を x 人、B 中学校の昨年度の生徒数を y 人として連立方程式をつくり、昨年度の 2 つの中学校のそれぞれの生徒数を求めなさい。ただし、途中の計算も書くこと。

- 2 あさひさんとひなたさんの姉妹は、8 月の 31 日間、毎日同じ時間に同じ場所で気温を測定した。測定には、右の図のような小数第 2 位を四捨五入した近似値が表示される温度計を用いた。2 人で測定した記録を、あさひさんは表 1 のように階級の幅を 5°C として、ひなたさんは表 2 のように階級の幅を 2°C として、度数分布表に整理した。



図

このとき、次の(1), (2), (3)の問いに答えなさい。

- (1) ある日、気温を測定したところ、温度計には 28.7°C と表示された。このときの真の値を $a^{\circ}\text{C}$ とすると、 a の値の範囲を不等号を用いて表しなさい。

階級($^{\circ}\text{C}$)		度数(日)
以上	未満	
20.0	~ 25.0	1
25.0	~ 30.0	9
30.0	~ 35.0	20
35.0	~ 40.0	1
計		31

表 1

- (2) 表 1 の度数分布表における、最頻値を求めなさい。

- (3) 表 1 と表 2 から、2 人で測定した記録のうち、 35.0°C 以上 36.0°C 未満の日数が 1 日であったことがわかる。そのように判断できる理由を説明しなさい。

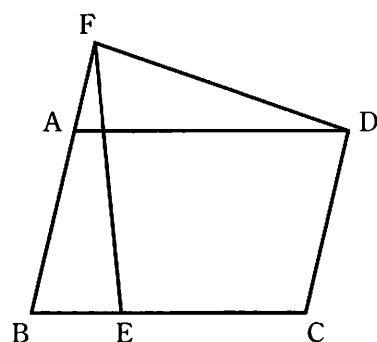
階級($^{\circ}\text{C}$)		度数(日)
以上	未満	
24.0	~ 26.0	1
26.0	~ 28.0	3
28.0	~ 30.0	6
30.0	~ 32.0	11
32.0	~ 34.0	9
34.0	~ 36.0	1
計		31

表 2

4 次の1, 2の問いに答えなさい。

- 1 右の図のような, $AB < AD$ の平行四辺形 $ABCD$ があり, 辺 BC 上に $AB = CE$ となるように点 E をとり, 辺 BA の延長に $BC = BF$ となるように点 F をとる。ただし, $AF < BF$ とする。

このとき, $\triangle ADF \equiv \triangle BFE$ となることを証明しなさい。

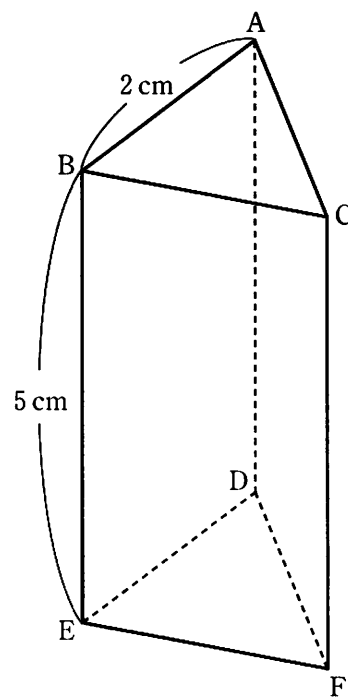


- 2 右の図は, 1 辺が 2 cm の正三角形を底面とする高さ 5 cm の正三角柱 $ABC - DEF$ である。

(1) 正三角形 ABC の面積を求めなさい。

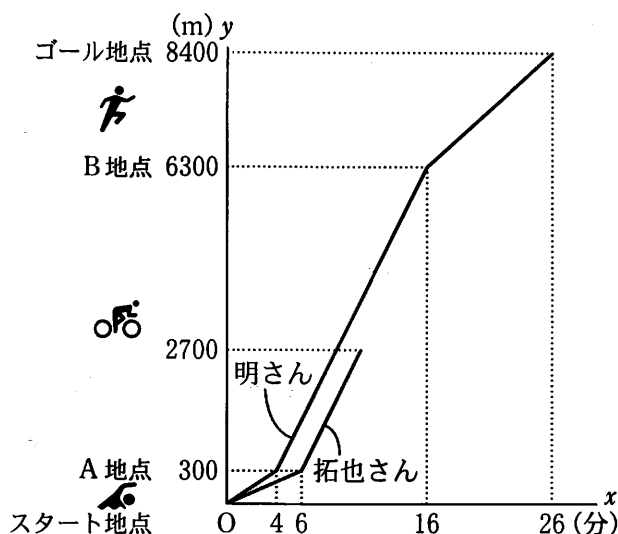
- (2) 辺 BE 上に $BG = 2\text{ cm}$ となる点 G をとる。また, 辺 CF 上に $FH = 2\text{ cm}$ となる点 H をとる。

このとき, $\triangle AGH$ の面積を求めなさい。



- 5 明さんと拓也さんは、スタート地点から A 地点までの水泳 300 m、A 地点から B 地点までの自転車 6000 m、B 地点からゴール地点までの長距離走 2100 m で行うトライアスロンの大会に参加した。

右の図は、明さんと拓也さんが同時にスタートしてから x 分後の、スタート地点からの道のりを y m とし、明さんは、水泳、自転車、長距離走のすべての区間を、拓也さんは、水泳の区間と自転車の一部の区間を、それぞれグラフに表したものである。



る。ただし、グラフで表した各区間の速さは一定とし、A 地点、B 地点における各種目の切り替えに要する時間は考えないものとする。

次の 内は、大会後の明さんと拓也さんの会話である。

明 「今回の大会では、水泳が 4 分、自転車が 12 分、長距離走が 10 分かかったよ。」

拓也 「僕は A 地点の通過タイムが明さんより 2 分も遅れていたんだね。」

明 「次の種目の自転車はどうだったの。」

拓也 「自転車の区間のグラフを見ると、2 人のグラフは平行だから、僕の自転車がパンクするまでは明さんと同じ速さで走っていたことがわかるね。パンクの修理後は、速度を上げて走ったけれど、明さんには追いつけなかったよ。」

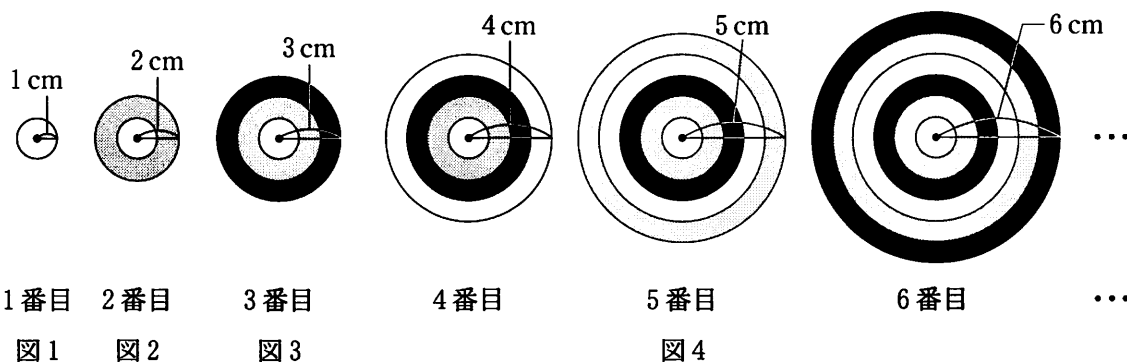
このとき、次の 1、2、3、4 の問いに答えなさい。

- 1 水泳の区間において、明さんが泳いだ速さは拓也さんが泳いだ速さの何倍か。
- 2 スタートしてから 6 分後における、明さんの道のりと拓也さんの道のりとの差は何 m か。
- 3 明さんの長距離走の区間における、 x と y の関係を式で表しなさい。ただし、途中の計算も書くこと。
- 4 内の下線部について、拓也さんは、スタート地点から 2700 m の地点で自転車がパンクした。その場ですぐにパンクの修理を開始し、終了後、残りの自転車の区間を毎分 600 m の速さで B 地点まで走った。さらに、B 地点からゴール地点までの長距離走は 10 分かかり、明さんより 3 分遅くゴール地点に到着した。

このとき、拓也さんがパンクの修理にかかった時間は何分何秒か。

6

図1のように、半径1 cmの円を白色で塗り、1番目の図形とする。また、図2のように、1番目の図形に中心が等しい半径2 cmの円をかき加え、半径1 cmの円と半径2 cmの円に囲まれた部分を灰色で塗り、これを2番目の図形とする。さらに、図3のように、2番目の図形に中心が等しい半径3 cmの円をかき加え、半径2 cmの円と半径3 cmの円に囲まれた部分を黒色で塗り、これを3番目の図形とする。同様の操作を繰り返し、白色、灰色、黒色の順に色を塗り、できた図形を図4のように、4番目の図形、5番目の図形、6番目の図形、…とする。



また、それぞれの色で塗られた部分を「白色の輪」、「灰色の輪」、「黒色の輪」とする。例えば、図5は6番目の図形で、「灰色の輪」が2個あり、最も外側の輪は「黒色の輪」である。

このとき、次の1、2、3、4の問いに答えなさい。ただし、円周率は π とする。

1 「灰色の輪」が初めて4個できるのは、何番目の図形か。

2 20番目の図形において、「黒色の輪」は何個あるか。

3 n 番目(n は2以上の整数)の図形において、最も外側の輪の面積が $77\pi \text{ cm}^2$ であるとき、 n の値を求めなさい。ただし、途中の計算も書くこと。

4 n 番目の図形をおうぎ形に m 等分する。このうちの1つのおうぎ形を取り出し、最も外側の輪であった部分を切り取り、これを「1ピース」とする。例えば、 $n=5$ 、 $m=6$ の「1ピース」は図6のようになり、太線(——)でかかれた2本の曲線と2本の線分の長さの合計を「1ピース」の周りの長さとする。

このとき、次の文の①、②に当てはまる式や数を求めなさい。ただし、文中の a 、 b は2以上の整数とする。

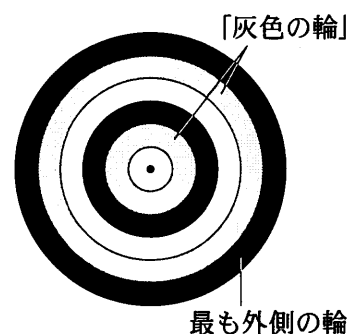


図5

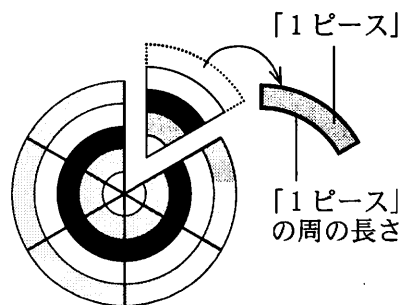


図6

$n=a$ 、 $m=5$ の「1ピース」の周りの長さと、 $n=b$ 、 $m=9$ の「1ピース」の周りの長さが等しいとき、 b を a の式で表すと、(①)となる。①を満たす a 、 b のうち、それぞれの「1ピース」が同じ色のとき、 b の値が最小となる a の値は、(②)である。